

# 静岡県立中央図書館だより 文化の丘

令和元年秋号  
(ISSN 1345-2282)

当館南プロムナードからの展望 徒歩5分  
左がロダン館、中央が図書館、右が県立大学

No.363

- 1 文化の丘をめぐる景色
- 3 昔へいざない  
こんにちは 館長です
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

昭和45年(1970年)の当館開館時の資料「静岡県文化センター 県立中央図書館」(当館 Web のデジタルライブラリーでも見られます)のあいさつ文は以下の冒頭で始まります。

「東海の名勝日本平を背に、有度山からの眺望は、東に麗峰富士を仰ぎ、眼下には日本列島の大動脈・新幹線と東名高速道路が東西に走り、はるか遠くには南アルプス連峰が美しい姿を映しています。そこには広大な緑の自然があり、清新な光と空気がゾーン全体に溢れています。静岡県文化センターはこのような素晴らしい自然環境の中にあります。」

この環境は、50年経った今でも基本的には変わりありません。今回は、この素晴らしい当館周囲の自然環境の一部について紹介したいと思います。

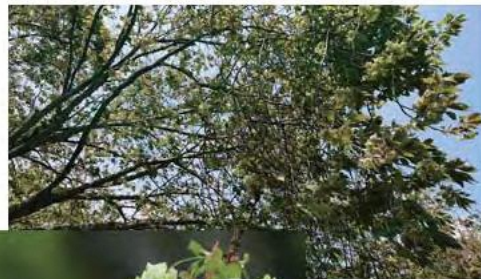
皆様も機会があれば、是非、一度、散策していただければ幸いです。心地よい日であれば、リフレッシュすること請け合いですよ!



トトロの木発見!?



当館東側の芝生広場  
図書館利用者駐車場のすぐ上に  
あります



2面 春の風景の説明です▶



## 県立中央図書館東側の春の風景



御衣黄（ギョイコウ）バラ科  
Prunus lannesiana cv. Gioiko

サトザクラの品種。花は4月中旬に咲く。花弁は13枚、縁は外側に反り返り淡緑色、部分的に濃い筋が入る。



鬱金（ウコン）バラ科  
Prunus lannesiana cv. Grandiflora

サトザクラの園芸品種。花は東京で4月中旬頃咲く。花弁は7～18枚のウコン（淡黄緑）色、基部は淡紅紫色。



当館北側の自転車置き場付近は一転してヤシの木などあり南国風。この、場所による変化も面白いですね。



昭和43年の資料「静岡県文化センター起工式」（当館Webのデジタルライブラリーで見られます）の冒頭では以下のように構想が描かれています。（一部抜粋）

「より明るく豊かなくらしを実現するためには、産業の発展や生活の向上とともに、高い知性と、ゆたかな情操、強い意志を備えた人格の形成、さらに健全で文化的な環境が必要です。そこで県では、つぎのような「静岡県文化センター」を構想しました。まず、区域全体を緑いっぱいの公園とし、（中略）、これをとりまく森と芝ふの大庭園によって、園地の効果を高め、（中略）園地内には資料図書館、美術館、音楽ホール、などの施設を有機的に建設します。資料図書館は、産業資料や郷土資料を収集して特色をもたせるとともに、県内公共図書館の親図書館としての指導、レクチャー・ルームなど視聴覚資料、サービス面の強化をはかります。また県内図書館所蔵の図書目録の作成、高価、高水準図書の整備、相談サービスの充実など、郷土産業の振興と県民文化の高揚などに役立つよう計画されています。」

当館はこれまでも各種サービスの充実に努めてまいりましたが、この構想にある当館の基本的な役割は、今後もきっと変わらないものです。これからも当館をどうぞよろしく願いいたします。



当館Webのコンテンツ「図書館周辺のPHOTOギャラリー」でも四季折々の美しい風景を紹介していますので、是非、ご覧ください。



本年 2019 年は今川義元生誕 500 年に当たります。今回は義元公の領国経営の一端を紹介します。

### 今川義元の寺院統制政策

今川氏の治政では、義元の父・氏親が制定した分国法「今川かな目録」が有名ですが、義元独自の政策としては領国内寺院の統制が挙げられます。これは諸寺院を今川氏の氏寺である菩提所、今川氏の武運長久と領国の国家安全を祈願する祈願所、今川氏の重臣の菩提寺である無縁所の3種に類別し、それぞれの本寺・末寺関係を整理したものです。本寺は末寺住職の任命権を有し、諸役免除等の特権が認められ、中小の寺院にとっては大寺院の末寺に組み込まれることで今川氏公認となり、寺領も安堵（所有権の承認）されるという利点がありました。また、諸寺院には衆僧・信徒による伝統的な自治組織があり、義元はこれらの宗教的組織に今川氏の安堵を最高の公的保証として認めさせ、駿河・遠江・三河にわたる

広大な領国の支配を強化・効率化したのです。

例えば、前号で言及した善徳寺（廃寺。富士市今泉）は塔頭（たちゅう。境内内外の小寺院）10ヶ寺と興国寺（沼津市根古屋）など末寺 17ヶ寺を従える本寺である一方、清見寺（静岡市清水区興津清見寺町）などとともに菩提所総本寺の臨濟寺（静岡市葵区大岩町）に統制されていました。

永禄3（1560）年、義元は桶狭間の戦いで敗死し、家督を継いだ氏真が義元の墓所として天沢寺（廃寺。静岡市葵区大岩）を建立しました。天沢寺も臨濟寺を総本寺とする菩提所本寺でしたが、後に臨濟寺に吸収され、義元公も現在は臨濟寺の墓所で眠っています。



臨濟寺

（歴史文化情報センター所蔵）

静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階  
電話 054(221)8228 FAX 054(255)3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

## 県立中央図書館 開館インフォメーション

	本館	えほんのひろば
開館時間	月、火、土、日、休日 午前9時～午後5時	午前9時30分 午後6時
	水、木、金（休日以外） 午前9時～午後7時	

	本館	えほんのひろば
休館日	9月2、17、30日	9月10、11、16、23日
	10月7、21、31日	10月8、9、10、14、22日
	11月5、18、29日	11月4、7、12、13、23日

## こんにちは 館長です

今年の7月は、比較的曇りの日が多かったですが、8月に入ると、例年同様、目もくらむ強烈な陽射しに悩まされる猛暑となりました。

去る7月9日には、児童図書・わらべうた研究家の落合美知子先生を講師にお招きし、子ども図書研究室講演会を開催しました。「ことばを育むわらべうた」と題し、遠い昔から、親や身近な大人たちが、乳幼児に語り継ぎ受け継がれてきた、私たちに親しい素朴で温もりのある多くのわらべうたを紹介され、言葉・肉声の持つ力、そのすばらしさと大切さについて語られました。目の前の幼い子どもたちに、自分の声で表情豊かに話しかける、語りかける。それが人間形成の根幹を育む、そういう機会が、現在、インターネット、スマートフォン等の普及の中で、急速に失われていることへの懸念や「いま、次の世代に伝えておかなければ」という切実な思いを話の底流に込めながら、当日聴講された200名を超える皆さんも一緒に身振り手振りを交えて懐かしいわらべうたをうたいながらの、ほのぼのと楽しいひとときでした。

7月の末と8月の初め、閲覧室床のひび割れの関係でここ2年間中止していた中高生対象の職業体験を再開しました。それぞれ2日間の日程で、終日のプログラムでしたが、下田から浜松にいたる県全域から、多くの生徒さんが参加してくれました。図書館業務というと、閲覧室と貸出カウンターがメインというイメージでいた生徒さんが多かったので、巨大な閉架書庫からの資料出納や

市町立図書館への支援（相互貸借、図書館職員対象の各種研修）、破損書籍の修繕等、バックヤード業務の比重の大きさに、新鮮な驚きもあったようです。貴重な経験を積んでもらえたのではと思います。

8月上旬の恒例イベントである小学生対象の夏休み子ども図書ウィークの企画も好評のうちに実施できました。図書館周辺の自然観察、ユニバーサル絵本手作り教室、夏をテーマにした折り紙遊び、静岡県のマスコットキャラクター「ふじっぴー」も特別参加する知事部局統計利用課による親子グラフ教室など、子どもたちは楽しみながら取り組んでいました。夏休みの自由研究としても役立てていただけたと思います。講師として御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

8月下旬、今年度初めての試みとして実施した教職員対象の「教育活動中の著作権と情報リテラシー」研修には、小・中・高・特別支援学校の教職員の方が多数参加していただきました。普段、公共図書館職員を対象に実施している各種研修ですが、教育現場での必要知識として、また課題解決学習にも役立つという積極的な評価をいただきました。

資料収集と提供が当館の主たる役割ですが、それと共に、広く様々な分野で活躍されている皆様、また行政・教育機関とも連携協力しながら、生涯教育・問題解決の拠点のひとつとして、生活に役立つ研修やイベントにも取り組んで参ります。





2018.9.5 菊川市立図書館菊川文庫



2018.9.6 伊豆市立中伊豆図書館



2018.9.13 浜松市立細江図書館



2018.9.19 静岡市立南部図書館



2019.7.18 磐田市ひと・ほんの庭にこっと



2018.11.29 磐田市立豊岡図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。